



### <来週の資金需給予想とイベント予定>

(単位：億円)

日付	資金需給予想			主な要因	オペ期日	オペスタート	イベント
	銀行券要因	財政等要因	資金過不足				
7/24 (月)	+ 300	+ 8,300	+ 8,600	流動性供給 国庫短期証券発行・償還 (3M) 各種財政資金の支払い	CP等買入 ▲ 400 社債等買入 ▲ 100 国債補完供給 + 40,100	社債等買入 + 1,000	
7/25 (火)	+ 1,000	+ 12,000	+ 13,000	各種財政資金の支払い			日：基調的なインフレ率を捕捉するための指標 米：FOMC (1日目)
7/26 (水)	トン	▲ 2,000	▲ 2,000	国債発行 (40年)			米：FOMC (2日目) 声明発表、FRB議長記者会見
7/27 (木)	トン	+ 3,000	+ 3,000				日：金融政策決定会合 (1日目) 米：GDP (2Q) 欧：ECB政策金利発表、総裁記者会見
7/28 (金)	▲ 1,000	+ 3,000	+ 2,000				日：金融政策決定会合 (2日目) 終了後に展望レポートを公表

### <インターバンク>

日銀当座預金残高は週初、国債買現先オペのエンドを主因に、前営業日対比8,700億円減少の532兆4,000億円から始まった。その後は共通担保オペ等により増加傾向で推移し、週末となる21日には気候変動オペを主因に、537兆5,300億円 (速報) まで増加し越過となった。

無担保コールON物は週を通して軟調な地合となった。同加重平均金利は週初▲0.048%から始まったものの、その後は積み期序盤によるビッドサイドの様子見姿勢から低下基調を辿り、週末となる21日には▲0.070%(速報)となった。

ターム物は1~2W物を中心に▲0.065%~▲0.030%程度の広いレンジで出が見られた。

来週の予定は、国内では、25日に基調的なインフレ率を補足するための指標の公表、27日・28日に日銀金融政策決定会合、などがあり、海外では25日・26日にFOMC、27日に米GDP (2Q) の公表がある。

### [無担保コールレート]

	予想レンジ (%)
O/N	▲0.087 ~ 0.001
1M	▲0.060 ~ 0.0100
2M	▲0.040 ~ 0.050
3M	0.000 ~ 0.130
6M	0.000 ~ 0.150

### [オープン市場]

	予想レンジ (%)
現先 (on/1w)	▲0.050 ~ 0.000
CP 3M	0.000 ~ 0.010

### <レポ>

足許GCは週を通して▲0.095%~▲0.085%の狭いレンジで推移した。短国の入札があった19日と21日でも、水準に変化は見られなかった。

SC取引は2年438~449回債、5年149~158回債、10年350~371回債、20年180~184回債、30年65~79回債、40年13~16回債などに引合いが多く見られた。

### <CP>

今週の入札発行総額は約1兆1,300億円で、週間償還額 (約6,800億円) を上回った。発行市場は連休により営業日数が少なかったものの、石油や鉄鋼、医薬品等幅広い業態で大型の発行が行われ活況となった。発行残高は先週末時点の26兆9,070億円から20日時点で27兆3,610億円に増加した。発行レートは、0%近辺から小幅なプラス圏での出合いが中心であった。

来週の償還額は、月末日の大量償還 (1兆7,600億円) を含み約2兆4,000億円となっている。発行市場は、月末スタートの大量発行が見込まれる。発行レートは、浅いマイナスから0%近辺での出合いが中心となることを予想する。26日に、CP等買入れオペが4,000億円でオファーされる予定となっている。

### <TDB>

19日の1Y (1170回債) の入札は、最高落札利回り▲0.1109% (前回債▲0.1284%)、平均落札利回り▲0.1218% (前回債▲0.1294%) となった。21日の3M (1171回債) の入札は、最高落札利回り▲0.1042% (前回債▲0.1297%)、平均落札利回り▲0.1210% (前回債▲0.1366%) となった。

来週は27日に3Mの入札が予定されている。